



STOP THE 格差社会! 全道キャラバン通信

NO.15 2013.6.18 発行責任者 連合北海道組織労働局

全道キャラバン 全走行距離 6233 km

16日(日)札幌にて到着集会開催される!

5月20日に豊富町をスタートしたキャラバンは、全道106カ所で街頭演説を行い、延べ166市町村を街宣走行した。

16日(日)12:00、晴れ上がった大通公園11丁目広場で、全道を走破した連合北海道の街宣車と共に、500人が参集して到着集会が開催された。連合北海道渡辺副事務局長の司会のもと、連合北海道工藤会長は、「いま、私たちが声を上げなければ社会は変わらない。労働者の犠牲の上に成長戦略を描く姿勢は断じて容認することはできない」と訴えた。



連合北海道工藤会長



連合本部
須田総合労働局長

豊富の出発集会にも駆けつけた連合本部の須田総合労働局長からは「全国キャラバンとして取り組んできたが、最低賃金と生活保護費の逆転を解消し、働いて暮らしていける賃金にすること。民間の賃金を上げろと言いつつ地方公務員の給与を下げろという政府。アベノミクスの副作用で富める者はますます富み、貧しい者がますます苦しめられることが起きている。今の政権が何をしようとしているのか、しっかり見極めて夏の参議院選挙を迎えなくてはならない」と、アベノミクスの危険性を訴えた。

連合北海道の永田組織労働局長から1ヶ月に及ぶキャラバン行動について、全道での集会参加者は延べ3230人、街頭演説は106カ所、訪問自治体は166カ所、街宣車の総走行距離は6233kmに及んだことが報告された。

続いて民主党小川参議員から、『安倍政権からは「経済」や「成長」の言葉はあっても、「内需」や「個人消費」、「可処分所得」の拡大、「幸せ」や「豊かさ」という言葉が聞かれない。安心して暮らせ、格差が少なく、家庭を持ち働く喜びを享受できる、当たり前の社会が私たちのめざす政治だ。7月21日、STOP THE 格差社会の取り組みは重要な局面を迎える。アベノミクスにNO! を突きつけ、連合推薦9候補とともに戦い抜く。』と力強い決意表明がなされた。



勝つしかない!

連合北海道女性委員会の山田委員長が読み上げた集会アピールを採択し、来たる参議院選挙に全力を挙げることを確認した。



集会参加者

最後は石狩地協の井上会長の力強い団結ガンバローで、1ヶ月にわたる全道キャラバン行動を閉じた。



集会前に大通公園で



団結してガンバロー!

「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーン 6.26 結集集会
6月26日(水)18:30~20:00 日本教育会館(東京)